

京都大学
人 社 未 来 形
発 信 ま ン ガ

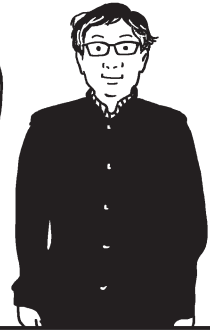
はやのん理系漫画制作室

第4回

「数理科学の正体を見つめる」

出口先生のご専門
「数理哲学」……

普通の人からすると
「哲学」は文系
「数理科学」は理系と
まったく関係がないみたいに
感じると思うのですが!?



そうですね……
この二つはなにか
かけ離れたものと
感じるかもしれませ

しかし「数学」と「哲学」は
じつは古代ギリシャにおいては
ひとつながり、一体となった
知のアクティビティだったんです

特にプラトンは
「理系的」と言われていまして
開設した学園アカデメイアの門には
「幾何学を知らぬ者くぐるべからず」
との額が掲げられていたそうです

ΑΓΕΩΜΕΤΡΗΤΟΣ
ΜΗΑΕΙΣ ΕΙΣΙΤΤΩ

それが17世紀以降
近代的な自然科学と
近代的な哲学に分かれ……

数学と哲学に限らず
現代では学問は細分化され
統合性が失われていると言える
状況にあります

文学研究科 哲学研究室
出口康夫教授

学問は本来
つながって
いた…!

私は
数理哲学という分野において
数理科学の研究者が
自身の考えを実証するために
利用している観察や
実験の方法論そのものに
目を向けて……

それはどのような仕組みで
なりたっているのか?

どのような考えを
前提しているのか?

と問いかけ
その正体を
明らかにしていく
……という課題に
取り組んでいます

数理科学の
研究手法そのものを
疑う……!?

そんなこと
考えたこと
ありませんでした!

